

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生理機能検査学Ⅱ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	笹岡 悠一 ※
授 業 概 要					
政令で定める生体機能検査を円滑に実施するための知識を修得する。生体機能情報を収集するための理論と実際、そして結果の解析と評価をできるようにする。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・検査目的の対象となる臓器の構造と機能を説明できる。 ・測定目的、原理、操作方法、アーティファクトを説明できる。 ・測定結果の判読法を学び臨床的意義を説明できる。 ・測定機器の原理、構造を説明できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	呼吸生理の基礎：肺の構造と機能、肺機能検査の基本事項				笹岡 悠一 ※
2	換気機能検査Ⅰ：スパイロメトリ				
3	換気機能検査Ⅱ：フローボリューム曲線、ピークフローメータ				
4	換気機能検査Ⅲ：機能的残気量、肺コンプライアンス				
5	換気機能検査Ⅳ：気道抵抗と呼吸抵抗				
6	換気機能検査Ⅴ：肺胞換気不均等分布				
7	換気機能検査Ⅵ：クロージングボリューム				
8	換気機能検査Ⅶ：肺拡散能力				
9	血液ガスⅠ：血液ガス測定原理、動脈血採血と取り扱い				
10	血液ガスⅡ：パルスオキシメータによる酸素飽和度の測定				
11	血液ガスⅢ：酸素解離曲線、経皮的血液ガス測定				
12	血液ガスⅣ：酸塩基平衡				
13	呼吸調節に関する検査：呼吸調節とその検査法、呼吸困難の評価				
14	エネルギー代謝：エネルギー代謝、基礎代謝率の測定				
15	呼気ガス分析：呼気ガス分析、運動負荷試験				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義後に関連部分の教科書を読んで復習すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子 他 医歯薬出版					